

組み立てをとらえて民話を紹介しよう「三年とうげ」

本単元で育成する資質・能力

チャレンジする力

表現する力

協力・貢献する力

1 日時 令和5年10月13日(金) 6校時

2 学年・学級 第3学年1組
男子7名 女子4名 計11名

3 単元について

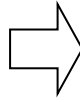
(1) 児童観

本学級の児童は、1年生で「大きなかぶ」、2年生で「スーホの白い馬」を学習し、登場人物の行動を中心に場面の様子を読み取ることを学習してきた。3年生では、「きつつきの商売」を学習し、文章中の叙述を基に登場人物の気持ちを想像することを、「まいごのかぎ」では、登場人物の行動や変化に気を付けて読むことを学習した。

児童は、物語の世界に浸りながら楽しく作品を読むことができた。しかし、文章中の叙述を基に登場人物の気持ちの変化を想像したり考えたりできる児童は少なかった。

また、自分の考えを伝えたいという思いは強いが、友達の意見を取り入れたりよさに気付いたりしている児童は少ない。

読書においても積極的にやっている児童は多いが、文章が少ないものや科学的な読みものや雑学などを好んで読む児童が多い。そのため、気持ちや様子を表す語彙が少ない傾向にある。



(2) 単元観

本単元は、新学習指導要領で示された第3学年及び第4学年の「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」の指導事項「イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。」「エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。」「カ 文章で感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。」「知識及び技能」の(3)「オ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。」を受け設定した。

本教材文は、「はじめ・出来事が起こる・出来事が解決する・むすび」の四部構成で成り立っており、組み立てや内容を捉えやすい。また、昔からの言い伝えを信じ、病気になってしまうおじいさんと、機転を利かしておじいさんを救ったトルトリという二人の性格もはっきりと書かれているので、登場人物の気持ちの変化を読み取るのに適している。さらに、言い伝えが調子やリズムのよいものであるなど、児童が民話のおもしろさに気付く、楽しみながら読み進めることのできる作品である。

(3) 指導観

指導にあたっては、話のおもしろさについて、一人一人の児童が自分の考えをもてるようにするため、以下の3点を意識して学習を進めていく。

- ① 単元を貫く問いとして、「三年とうげのおもしろさは何か」について考えさせる。
- ② 登場人物の様子や行動、気持ちを表す言葉に着目し、登場人物の心情を考えさせる。
- ③ 友達の考えのよさにも気付かせ、話の内容やおもしろさについて理解を深めさせる。

友達と交流することでさらに自分の考えを広げたり深めたりすることができる。また、本質的な問いとして、「民話のおもしろさとは何か」を設定し、民話のおもしろさについて考えることでさまざまな民話や昔話に興味をもち、おもしろさについて考えることで、日本や外国の読み物を進んで読むとする態度を育みたい。

4 単元目標

- 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。
- 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。
- 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	①「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ②「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ③「読むこと」において、文章で感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	① 進んで登場人物の気持ちを場面の移り変わりと結び付けて捉え、自分の考えをまとめ、発言している。

6 他教科等との関連

国語科	社会科	特別な教科道德	総合的な学習の時間
モチモチの木	市のうつりかわり	ふるさといいとこさがし	花いっぱい小屋浦

7 指導と評価の計画（全 6時間 本時 5/6時間）

過程	ねらい	主な学習内容	評価基準及び評価方法
とらえる	○単元の見通しをもち、「三年とうげ」の組み立てについて理解することができる。	① 話の大まかな内容を捉える。 全文を音読し、大まかな話の内容をとらえよう。 ・範読を通して、物語の大まかな内容を捉える。 ・出来事を基に、場面分けをする。 ・初発の感想をもつ。	・登場人物やあらすじなど、物語の内容を大まかにとらえている。 【思・判・表】 （観察・発言）
深める	○「三年とうげ」の組み立てをとらえることができる。	② 1・2場面の登場人物の行動や出来事を押さえ、登場人物の気持ちを考える。 1・2場面で起こった出来事を確認し、登場人物の気持ちについて考えよう。 ・1・2場面を音読する。 ・叙述を基に登場人物の気持ちについて考える。 ③ 3・4場面の登場人物の行動や出来事を押さえ、登場人物の気持ちについて考える。 3・4場面で起こった出来事を確認し、登場人物の気持ちについて考えよう。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 【思・判・表】 （発言） ・登場人物の気持ちを場面の移り変わりと結び付けて捉え、自分の考えをまとめ、発言している。 【態】 （発言）

		・ 3・4 場面を音読する。 ・ 叙述を基に登場人物の気持ちについて考える。	
		④ 物語を通して、変化したことについて考える。 お話のはじめと終わりで、だれがどのように変わったのかを考えよう。 ・ 物語を通して、誰が、何によって、どのように変わったのかを考える。 ・ 「おじいさん」の行動や様子を表す言葉に着目して読む。	・ 登場人物の気持ちを場面の移り変わり結び付けて捉え、自分の考えをまとめ、発言している。【態】（発言）
	○「読むこと」において文章を読んで理解したことに基づいて、「三年とうげ」のおもしろさについて共有し、一人一人の感じ方などの違いに気付くことができる。(本時)	⑤ 「三年とうげ」のおもしろさについて考える。 三年とうげのおもしろさについて考えよう。 ・ ワークシートにまとめた後、全体で交流する。	・ 「読むこと」において文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。【思・判・表】（観察・発言・ワークシート）
まとめる	○書き出しと結びを工夫して感想を書き、考えたことを伝え合うことができる。	⑥ 民話を一つ選びおもしろさを紹介する文章を書く。 自分の選んだ民話のおもしろさを伝えよう。 ・ 書き出しと結びに気を付け、構成を考えて文章を書かせる。	・ 感想を共有して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【思・判・表】（記述・発言） ・ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。【知・技】（観察）

8 本時の学習

(1) 本時の目標

「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて三年とうげのおもしろさについて共有し、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

(2) 本時の展開 (本時 5 / 6)

	学習活動	指導上の留意事項 (・) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時までの学習を振り返る。	・場面ごとの出来事や登場人物の気持ちについて振り返り、全体の内容を確認する。	
	2 本時のめあてを確認する。	・本時は、「三年とうげ」のおもしろさについて考えることを確認する。	
	㊦ 三年とうげのおもしろさについて考えよう。		
展開	3 おもしろさについて考える視点を示す。	・「登場人物」「出来事」「話の内容」「言葉」「絵」の五つの視点を示す。 ・五つの視点以外にもおもしろいと思ったことを書いていいことを伝える。	
	4 三年とうげのおもしろさについて考える。 ・トルトリの言ったことがおもしろい。 ・歌があるのがおもしろい。 ・言葉の使い方がおもしろい。 ・登場人物がおもしろい。 ・組み立てがおもしろい。	・おもしろいとおもったことをジャムボードで書かせる。 ・なぜおもしろいと思ったのか理由も考えておくことを伝える。 ◆ 考えが浮かばない児童には、視点をもとに、物語の内容などを一緒に振り返り、考えが出せるように個別支援する。	
	5 全体で共有する。	・自分の書いた意見の中から一つずつ自分の考えを紹介する。 ・全員発表した後、友だちの意見に対して疑問に思うことや詳しく聞いてみたいことを聞き合い、意見を共有する。	
	6 友達の意見も参考に「三年とうげ」のおもしろさについて自分の言葉でまとめる。	・教科書P79の「しょうかいのれい」を参考におもしろいと思うことをワークシートに文章でまとめる。 ・友達の意見を受け入れ、自分の考えの参考にするようにアドバイスする。 ・友達の考えのよさについても書くように伝える。	
			○「読むこと」において文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもっている。【思・判・表】(ワークシート・発言)

まとめ・振り返り	7	本時のまとめをする。	・同じ文章を読んでもおもしろいと思う所や理由は読み手によって違うことを押さえる。		
		㊸ 同じ文章を読んでもおもしろいと思うところや理由は読む人によってちがう。			
	8	本時の振り返りをする。			
		【振り返り例】 ・話を作った人はおもしろくするための工夫をしていると思った。 ・他の作品のおもしろさも見つけてみたい。 ・〇〇さんの意見から新しいおもしろさに気付くことができた。			
	9	次時の見通しをもたせる。	・次回は、自分の選んだ民話のおもしろさを紹介する文を考えることを伝える。		

9 準備物

ワークシート、短冊、場面絵、タブレット（児童用）

10 板書計画

㊸ 同じ文章を読んでもおもしろいと思うところや理由は読む人によってちがう。	児童の意見	登場人物 出来事 絵 話の内容 言葉	三年とうげのおもしろさ	場面絵 場面絵	場面絵 場面絵	㊹ 三年とうげのおもしろさを考えよう。	三年とうげ リズムオギ
--	--------------	---	--------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	---------------------------